

■1. 事業に取り組んだ背景

宮城県では国内シェアの約8割以上のホヤを生産し、主に韓国に輸出していた。しかし、東日本震災とそれに伴う原発事故の影響によって韓国向けの輸出が停止し、大幅な減産を余儀なくされている。漁業関係者等が需要開拓に取り組み、国内需要は回復しつつあるが、震災前の韓国向け輸出量を上回る需要は開拓できていない状態である。



■2. 事業の目的

本事業では、米国ロサンゼルス等に存在する韓国人街(コリアンタウン)における販路を開拓する。加えて、遠隔地へのホヤ輸出の際に不可欠となる加工品(冷凍むきホヤ)について、現地のニーズに合った製品を効率的に製造し、付加価値を確保できるバリューチェーンを構築する。以上をもって、宮城県内の養殖ホヤ生産量を震災前の水準に回復させ、漁業者の所得を確保することを目的とする。



■3. 協議会の構成員と役割分担

| | 段階 | 名称 | 事業種類・役割 | 具体的な取組内容 |
|-------|------|-----------------|----------------------|---|
| 事業実施者 | 生産 | 宮城県漁業協同組合 | 生産 | <ul style="list-style-type: none"> ■ホヤの養殖生産 ■生産段階における取組み |
| | 加工流通 | 南気仙沼水産加工事業協同組合 | 水産加工加工に関する支援 代表機関 | <ul style="list-style-type: none"> ■冷凍むきホヤの加工 ■流通段階の取組 ■事業の統括 |
| | 輸出 | 株式会社 松岡 | 物流・輸出販売 | <ul style="list-style-type: none"> ■米国国内における販路開拓 ■米国におけるマーケティング |
| | 輸出 | 株式会社 三陸コーポレーション | 加工品販売輸出 | <ul style="list-style-type: none"> ■東南アジア各国における販路開拓 ■現地マーケティング活動の実施 |
| 外部委託先 | 調査 | 株式会社流通研究所 | コンサルティング | <ul style="list-style-type: none"> ■事業全体の運営支援 ■各種調査の実施 ■事業成果のとりまとめ |

■4. 取り組み内容

◆宮城県産ホヤの海外販路開拓

- ① **宮城県産ホヤの生産動向の把握**▶協議会によって宮城県内におけるホヤの**生産状況、出荷調整の実施状況等を調査**。輸出向け製品の生産に向けた原料の調達に関する情報を収集
- ② **輸出対象都市における競合商品の確認**▶輸出対象として想定される国・地域において競合商品を購入し、**原料の品質や商品の規格等を確認**
- ③ **原料とするホヤの規格検討**▶競合商品と輸出対象都市の流通関係者・消費者のニーズを踏まえ、**原料となるホヤの規格(養殖期間)を検討**

◆遠隔地輸出を前提としたホヤ加工技術の確立

- ① **ホヤの自動殻剥き機の検討・開発**▶ホヤのむき加工から凍結までの工程の確認、機械メーカーとの意見交換、協議会における検討により**機械化する工程を検討**
- ② **商品形態の検討**▶輸出対象都市における競合商品の商品形態(パッケージの形状や製品容量等)、流通関係者・消費者のニーズを踏まえ、**商品形態を検討**

◆海外のコリアンタウンにおけるホヤのマーケティング

- ① **新たな輸出市場・販売ルートの開拓**▶輸出対象都市のホールセラー等を対象としたヒアリングや協議会における意見交換により、販路を開拓する業界・企業、**販路開拓の方法を検討**
- ② **現地調査の実施**▶現地にてサンプル配布、試食販促等の**販促活動を実施**し、プロモーションに必要な資料、資材等を検討
- ③ **販売条件の設定**▶原価(買取価格・加工賃)や輸出対象都市における競合商品の売価、ホールセラーの意向等を踏まえ、**供給価格や商品企画といった販売条件を設定**

☆本事業のポイント☆

- ◆宮城県産ホヤの韓国に代わる海外販路開拓
- ◆遠隔地輸出を前提としたホヤ凍結加工技術の確立
- ◆海外のコリアンタウンにおけるホヤのマーケティング